



東京歯科保険医新聞

国民とわれわれ歯科
医師が共同して保険
診療を充実させよう

News View

- 疑義解釈 2
22年度診療報酬
- 会員が見た診療報酬 3
DXの視点から見た診療報酬改定
私から見た歯科訪問診療の実態と診療報酬改定
- 会員寄稿
米国の人手不足 トヨタの賃上げ そして歯科は？
- 経営・税務相談 Q&A No.392 4
「パワーハラメント防止措置」の義務化
- 5月 金パラが引き上げに 5
— 銀合金、メタルコアおよび14Kも改定—
- インタビュー 6
平山 秀幸 映画「ツユクサ」監督

©2022「ツユクサ」制作委員会

- 連載 新型コロナウイルス感染症 8
対応は転換期を迎えている
山本 光昭 前東京都中央区保健所長
社会保険診療報酬支払基金理事
- 症例研究 9
CAD/CAM インレーの新設
- 連載 私の目に映る歯科医療界 10
大西 富士男 東洋経済新報社
編集局報道部記者

先日、興味を引く記事を読んだ。日本歯科医師会の調査によると、10代の30・3%が滑舌の悪さを感じ、17・6%がむせやすいという。60代では滑舌の悪さが32・8%、むせやすさは30・3%だが、10代の数値の高さに目を引かれる。「硬いものが噛みきれない」の項目に至っては、10代が40・3%、60代が36・4%と逆転し、10代が各年齢層でも最も高値だ▼この調査は、オーラルフレイルの検査項目と重なる。日歯は滑舌低下、食べこぼし、わずかなむせ、噛めない食品が増えるなどの口腔機能の低下をオーラルフレイルとしている。ただし対象は65歳以上で、あくまで備わっていたものが衰えたのが前提である▼10代の成長期に既にフレイルを起しているかは疑問だ。 frailtyではなく、初めから備わっていないと捉えたほうが良いのかもしれない。そしてこの検査値は加齢に伴い悪くはなれど、自然と改善されることはないだろう▼今後、若年層に新たな口腔衛生ガイドラインが必要となるかもしれない。(は)

探針

発行所
東京歯科保険医協会
〒169-0075
東京都新宿区高田馬場1-29-8
いちご高田馬場ビル6階
電話 03(3205)2999
振替口座 00180-0-118231
購読料 年6,000円
(会員の購読料は会費に含まれています)